



2020年6月12日

各 位

会 社 名 株式会社エイチーム
代表者名 代表取締役社長 林 高生
(コード番号: 3662)
問合せ先 執行役員 社長室長 光岡 昭典
(TEL. 052-747-5573)

特別損失の計上並びに業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2020年7月期第3四半期連結会計期間（2020年2月1日～2020年4月30日）において、特別損失を計上すると共に、2019年9月13日に公表いたしました2020年7月期通期連結業績を修正することとしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 特別損失（連結）の内容

当社は、2020年7月期第3四半期連結会計期間において、特別損失として無形固定資産の減損損失計999百万円を計上いたしました。これは、2017年12月22日に株式取得し、完全子会社化したIncrements株式会社に係るのれん、商標権の減損損失であります。

Increments株式会社は、プログラマ向けの技術情報共有サービス「Qiita」を主軸に、エンジニア向け転職支援サービス「Qiita Jobs」などを展開していますが、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、収益が減少したこと、「Qiita Jobs」等の事業展開が遅延している状況です。今後も、新型コロナウイルス感染症の動向を注視しながら、引き続き「エンジニアを最高に幸せにする」をミッションに、「Qiita Jobs」を含むエンジニア向けサービスの拡充に向けて投資を続けてまいりますが、現状では、当初予定していた収益が見込めないとみなしたためであります。

2. 特別損失（単体）の内容

当社の保有する関係会社株式のうち、連結子会社であるIncrements株式会社に係るのれん、商標権の減損損失の計上に伴い、関係会社株式評価損として1,255百万円の特別損失を計上することとなりました。

3. 連結業績予想の修正

- (1) 2020年7月期通期連結業績予想の修正（2019年8月1日～2020年7月31日）

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に 帰属する 当期純利益 (百万円)	1株当たり 当期純利益 (円 銭)
前回発表予想 (A)	35,000	1,000	1,000	500	25.57
今回修正予想 (B)	31,200	1,170	1,150	▲410	▲20.97
増減額 (B-A)	▲3,800	170	150	▲910	
増減率 (%)	▲10.9	17.0	15.0	-	
(ご参考) 前期実績 (2019年7月期)	37,151	2,811	2,809	1,473	75.52

(2) 修正の理由

2020年7月期通期連結売上高につきましては、EC事業が期初予想を大幅に上回り、エンターテインメント事業は概ね予想とおりであるものの、ライフスタイルサポート事業が予想を下回る見通しとなり、全体では売上高が期初予想を下回る着地見通しとなりました。

これは主に、ライフスタイルサポート事業における新型コロナウイルス感染症の影響によるものであります。新型コロナウイルス感染症による影響は、デジタルマーケティング支援ビジネス及びプラットフォームビジネスともに顕著です。デジタルマーケティング支援ビジネスにおいては、結婚式場情報サイト「ハナユメ」を中心とするブライダル関連サービスが、緊急事態宣言による自粛要請に伴い、対面接客を行うウェディングデスクの来店者数が大幅に減少し、ウェディングイベントの定期開催の中止などにより利用者数が大幅に減少しました。また、「ナビナビキヤッキング」を中心とするキャッシング・カードローン比較サイトやクレジットカード比較・情報サイト「ナビナビクレジットカード」などの金融関連サービスが、送客先クライアントの勤務体制の見直しによる申込業務の遅延により、利用件数が大幅に減少しました。プラットフォームビジネスにおいては、プログラマ向け技術情報共有サービス「Qiita」の広告需要が減少したほか、立ち上げ段階にあるエンジニア向け転職支援サービス「Qiita Jobs」の事業展開に遅延が生じています。

営業利益・経常利益につきましては、ライフスタイルサポート事業でコロナによるマイナス影響を大きく受けているものの、主にエンターテインメント事業における広告宣伝費、外注費や固定費等費用の見直しに加え、グループ全体において採用計画の見直しやコスト削減等地道な取り組みを引き続き行い、EC事業が初の四半期黒字化を実現するなど利益が改善したことにより、全体で期初予想を上回る見通しとなりました。

2020年7月期第4四半期連結会計期間におきましても、結婚式の先送りや在宅勤務の継続実施などによる送客先のコロナ影響に起因する送客件数の抑制など、新型コロナウイルス感染症による事業活動への影響は一定期間続くと想定されます。

親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、Increments株式会社に係るのれん、商標権の減損損失を計上したことにより、期初予想から乖離する見通しとなりました。

以上を踏まえ、2020年7月期通期連結業績予想数値を修正いたしました。

上記の将来に対する記述、以下の業績予想数値は、本資料発表日現在において当社グループが入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により変動する可能性があります。